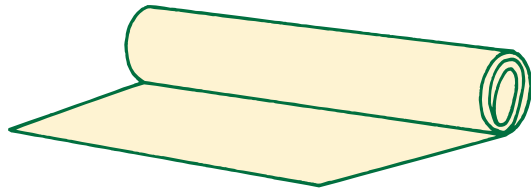
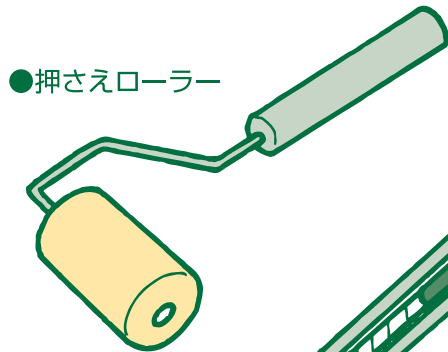


用意するもの

※粘着のり付壁紙の場合



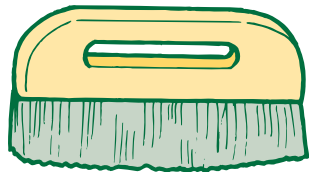
●粘着のり付壁紙



●押さえローラー



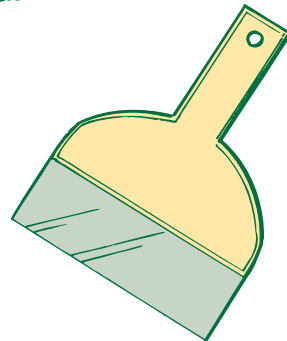
●カッター



●なでバケ



●糸とおもり

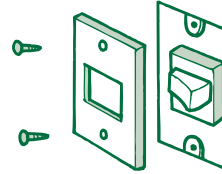


●ステンレス定規または
カッティングメジャー

ここがポイント!

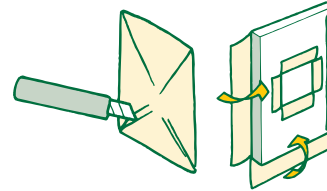
スイッチ・コンセント部分に貼る場合

- 貼る前にあらかじめプレート
をはずしておきます。
貼った後、その部分にカッター
で切り込みを入れます。



プレート部分の処理

- そのまま壁紙をかぶせ
て押さえ、切り込みを
入れて後で仕上げます。



注意

感電しないように、糊づけやカッターを使うときは通電している部分には触れないように注意してください。

サービスのご案内



配送・宅配便 切り売り商品 修理



返品・交換 表札・額の受注 スピーカーづくり

●クレジットもご利用になれます。



制作発行 / 株式会社セキチュー 販売促進課
〒370-1201 群馬県高崎市倉賀野町4531-1

TEL.027-345-1111(大代表)

壁紙の貼り方

自分でやってみよう!

セキチュー
HOW TO D.I.Y

19



壁が何となく薄汚れてきたり、お部屋のイメージチェンジをしたいと思ったとき、壁紙を貼り替えてみてはいかがでしょうか。最近では水も糊も使わない、最初から糊のついた壁紙も販売されていて、どなたにでも貼れるようになってきています。コツさえのみこめば簡単に貼れます。チャレンジしてみてください。

貼る前に

壁紙は4種類あります

- のりなし壁紙
自分でのりをつけて貼るタイプです。
- 再湿壁紙
壁紙の裏にのりがついていて水をつけて貼るタイプです。
- 生のり付壁紙
裏に職人さんが使うのりがついていますが、そのまま貼れるタイプです。貼りながら位置の調整もできます。
- 粘着のり付壁紙
裏紙をはがして使用するシールタイプの壁紙です。
※ここでは壁紙の裏にのりがついた「粘着のり付壁紙」の貼り方を説明します。

壁の種類と下準備

壁の種類によっては壁紙が貼れないものもありますので、下の表を参考にしてください。(和室の壁の下地処理は当社ハウツーペーパー No.8『和風壁に壁紙を貼る』をご覧ください)

壁の種類	可・不可	下準備
繊維壁	○	壁押さえ等
しっくい	◎	ひび割れの補修
塗装壁	○	サンドペーパーで荒らす
ビニール壁	○	はがす
クロス壁	○	はがす

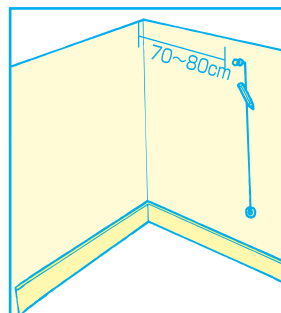
必要なm数の目安

- 4.5 量 約25m ●6 量 約28m
- 8 量 約33m ●10 量 約39m

粘着のり付壁紙の貼り方

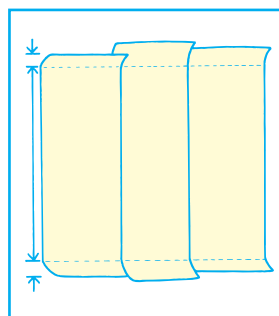
①貼り始める位置に垂直線を引きます。

コーナーは垂直ではないので、ここから始めると曲がってしまいますので、コーナーから70～80cmのところにおもりを下げて、壁に印をつけます。



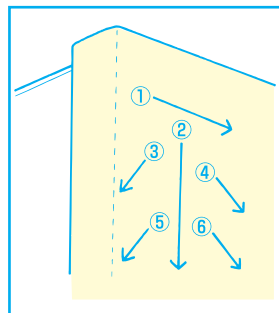
②壁紙を裁断します。

上下3～5cm長めに切ります。
2枚目以降は柄を合わせて、同様にゆとりをもって切ってください。



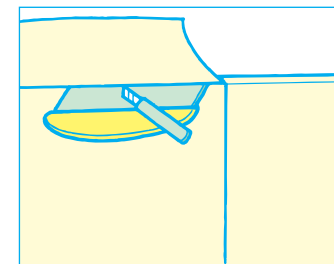
③1枚目を貼ります。

印をつけたところから3cmぐらい上に余らせて、コーナーにかけて貼ります。
①から順になでバケで空気を追い出すようにしながら一気に貼ります。
コーナーはなでバケで軽くたたいて決めこみます。



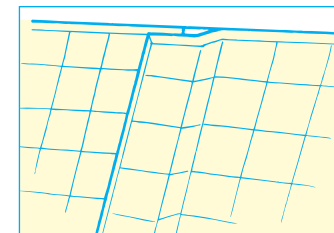
④上下の余分を切り取ります。

仕上げペラをしっかりと当てカッターの刃をねかせ気味にして切ります。



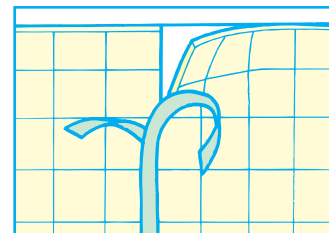
⑤柄を合わせて2枚目を貼ります。

柄を合わせて少し重ねて貼り、重なった部分の真ん中に仕上げペラを当ててカッターで切ります。



⑥余分を取り除きます。

両方の重なった部分を取り除いて左右を貼り合わせて下さい。両端がびつたり合うはずですが。



⑦継ぎ目を押さえてください。

ローラーで継ぎ目を押さえます。

